

Day1
(1日目)
10/19 (金)

ライチョウシンポジウム

参加無料・要申込 申込期限 10月16日

日時/平成30年10月19日(金) 13:00~16:30
会場/妙高市文化ホール(大ホール)

- 開場 12:00
- 開会 13:00
- オープニングライブ 高木いくの ミニライブ
- セレモニー
あいさつ新潟県知事花角英世 ほか



高木いくのさん

- 特別講演「そこに山があるから ~幸せは一步一步~」
工藤夕貴 (BS NHK プレミアムドラマ「山女日記」主演女優)



中村浩志

- 基調講演(問題提起)「火打山のライチョウの現状と課題」
ライチョウ会議議長 中村浩志 (中村浩志国際鳥類研究所 代表理事)

- パネルディスカッション
「火打山の自然とそこに棲むライチョウをどう守るか」
コーディネーター 中村 浩志 (中村浩志国際鳥類研究所 代表理事)
パネリスト 長野 康之 (国際自然環境アウトドア専門学校 専任講師)
ビル・ロス (ダンシングスノー代表)、小川 結衣 (ライチョウ調査ファンクラブ)
奥山 正樹 (環境省信越自然環境事務所 所長)

●閉会 16:30

ライチョウシンポジウムは入場整理券が必要です。
大会ホームページまたはお電話でお申込みください。

※事前にお申込みいただいた方に「入場整理券」
をお送りします。会場入場の際に必要になります
ので必ずお持ちください。また、定員になりしだ
い締切となりますのでお早めにお申込みください。



工藤夕貴さん

Day2
(2日目)
10/20 (土)

ライチョウ保護ワークショップ会議

参加無料・申込不要

~研究成果の発表と意見交換会~

※事前のお申込みは不要です。

日時/平成30年10月20日(土) 9:00~16:00 会場/ふれあい会館(ふれあいホール)

- 第1部：生息現地での生息域内保全に向けた取り組み (座長：中村浩志国際鳥類研究所 代表理事 中村浩志)
- 9:10~9:15 座長挨拶
- 9:15~9:30 発表①「北アルプス白馬岳~白馬乗鞍におけるライチョウのなわばり分布と雛の生存状況」
二本松裕太 (長野県環境部自然保護課)・杉本淳 (公害技術センター)
- 9:30~9:40 発表②「南アルプス塩見岳におけるライチョウのなわばり分布と雛の生存状況」
二本松裕太 (長野県環境部自然保護課)・杉本淳 (公害技術センター)
- 9:40~9:55 発表③「分布南限地域の標識調査でみえてきたライチョウの定着と季節移動」
朝倉俊治 (静岡ライチョウ研究会代表)
- 9:55~10:05 発表④「中央アルプス駒ヶ岳における雌ライチョウ1羽の50年ぶりの生息確認」
福田 真 (環境省信越自然環境事務所)・二本松裕太 (長野県環境部自然保護課)
- 10:05~10:25 発表⑤「捕食者除去で確認されたケージ保護による域内保全策の有効性」
中村浩志 (中村浩志国際鳥類研究所)・小林 篤 (東邦大学理学部)
- 10:25~10:40 休憩
- 10:40~11:00 発表⑥「10年間にわたる標識調査から明らかとなった火打山ライチョウ集団の個体群特性」
中村浩志 (中村浩志国際鳥類研究所)・小林 篤 (東邦大学理学部)
- 11:00~11:20 発表⑦「火打山におけるイネ科植物除去実験について」
福田 真 (環境省信越自然環境事務所)
- 11:20~11:40 発表⑧「飼育と野生ライチョウの腸内細菌叢確立過程の比較」
小林 篤 (東邦大学理学部)・土田さやか・牛田一成 (中部大学)
中村浩志 (中村浩志国際鳥類研究所)
- 11:40~12:00 第1部 質疑応答
- 12:00~13:00 諸連絡/休憩



Photo by 高橋広平



Photo by 高橋広平

Day3~4
(3・4日目)
10/21~22 (月)

エクスカージョン (ライチョウ観察会)

日時/平成30年10月21日(日) 7:00~22日(月) 16:30
会場/笹ヶ峰高原~高谷池~火打山山頂 (新潟県妙高市)

- 参加資格：次の①と②の条件を満たす方
- ①本大会のシンポジウムあるいはワークショップ会議のいずれかに参加した方
- ②1泊2日以上行程で、2,000m級の登山経験のある方、お持ちの登山装備をお持ちの方
- 参加費：お一人様15,000円(高谷池ヒュッテ宿泊費(1泊2食)、ガイド、保険料)
- ※余裕を持った行程としていますが、天候等の影響で変更が生じる場合があります。
- ※荒天の場合、中止とさせていただきます。予めご了承ください。よろしくお願いします。

sold out

関連イベント (会場内の催し)

日時/10月19日(金) 11:00~17:00、20日(土) 開館~16:00
会場/妙高市文化ホール(ホワイエ)

- ライチョウ写真パネル展 (雷鳥写真家 高橋広平ほか)
- 妙高戸隠連山国立公園紹介「一目五山の絶景 32選パネル展示」
- 平丸スゲ細工等自然資源を活かした作品の展示・販売会 (19日のみ)
- 書籍等の販売コーナー
(ライチョウ関連書籍、2019 雷鳥カレンダー、雷鳥写真集 妙高・火打・高妻の植物に関する書籍など)



第2部：動物園等での生息域外保全に向けた取り組み (座長：東京都恩賜上野動物園 副園長 渡部浩文)

- 13:00~13:10 日程説明・第2部 座長紹介/座長挨拶
- 13:10~13:25 発表①「JAZAにおけるライチョウ生息域外保全の取り組みについて」
秋葉由紀 (富山市ファミリーパーク)
- 13:25~13:40 発表②「飼育繁殖技術の向上への取り組み① 産卵・抱卵」
宮野典夫 (大町市立大町山岳博物館)
- 13:40~13:55 発表③「飼育繁殖技術の向上への取り組み② 人口孵化・育雛」
高橋幸裕 (東京都恩賜上野動物園)
- 13:55~14:10 発表④「遺伝的多様性の維持に向けた取り組み」
原藤芽衣 (那須どうぶつ王国)
- 14:10~14:25 発表⑤「飼育繁殖管理の向上にむけた性ホルモンと環境条件からみた生殖腺活動の調査」
楠田哲士 (岐阜大学応用生物科学部)
- 14:25~14:35 休憩
- 14:35~14:50 発表⑥「飼育下ニホンライチョウの代謝変動と新しい栄養知見の応用」
太田能之 (日本獣医生命科学大学)
- 14:50~15:05 発表⑦「野生ニホンライチョウを特徴付ける腸内細菌とその性質を生かした飼料開発」
土田さやか・牛田一成 (中部大学創発学術院)
- 15:05~15:20 発表⑧「飼育下スバルライチョウ10年の歩みと個体群動態」
田村直也 (長野市茶臼山動物園)
- 15:20~15:50 第2部 質疑応答/総合討論
- 15:50~16:00 総括・閉会挨拶 (ライチョウ会議議長・新潟妙高大会実行委員長 中村浩志)